

“イニシャルレス”でコージェネを更新 東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートで当社初適用

京葉ガスは、ガスコージェネレーションシステムの更新物件としては当社初となるエネルギーサービス契約を東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート（浦安市舞浜1-7、飛沢茂宣代表取締役社長）と締結し、同ホテルに設備を導入しました。省エネ性に優れたガスエンジンによるシステムが本年3月に稼働しました。



新たなガスコージェネレーションシステムが稼働した東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート

エネルギーサービスとは、お客さまのエネルギーの使用状況を把握し、コージェネレーションシステム（熱電併給システム）などの省エネルギー機器をはじめ、空調機器、ボイラなどをお客さまのニーズに合わせてコーディネートする事業です。

同ホテルでは平成2年の東京ベイホテル東急としての開業当初から、省エネルギーの観点と環境への配慮からガスエンジンによるコージェネを採用いただき、以来およそ22年間にわたり館内の電力の一部をまかない、排熱を給湯と冷暖房に利用してきました。

今回の更新にあたっては、京葉ガスが設備費や工事費、メンテナンス費などをパッケージ化し、ホテル側からサービス費用として毎年一定額の支払いを受ける契約を締結しました。これにより同ホテルではイニシャルコストを必要とすることなく、今年2月までに設備の入れ替え工事を完了しました。

新たに稼働したガスエンジンの発電出力は370kWで、従来設備に比べエネルギー効率が向上しており、ホテル全体のエネルギー消費量の低減に寄与しています。